

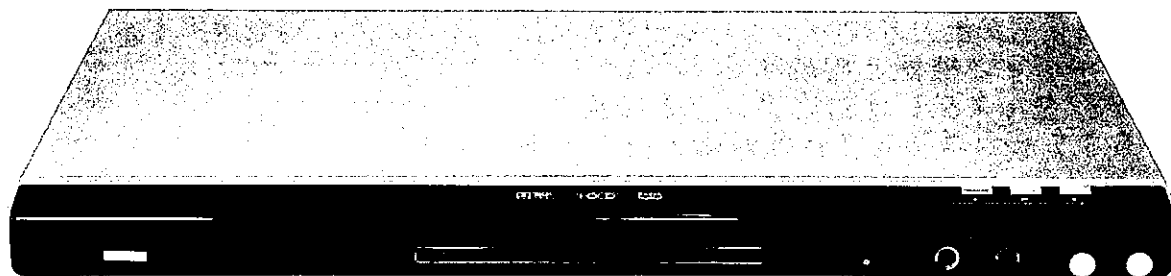
取扱説明書

Bearmax

DVDプレーヤー

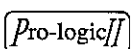
ジー・ケー

商品型番: **GK-3800**



お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



ご使用になるまえに

安全上の注意	3~5
使用上のお願い	6~7
お使いになる前に	8~9
各部の名称	10~11

接続と準備

付属品を確かめる	12
電源を準備する	12
電源コードの接続方法	12
リモコン用電池の入れ方	12
リモコンの使える範囲	12
接続する	
テレビと接続する	13
S映像入力端子のあるテレビと接続する場合	14
D端子のあるテレビと接続する場合	14
コンポーネント映像入力端子のあるテレビと接続する場合	14
VGAで接続する場合	14
映像信号の出力方式(インターレースまたはプログレッシブ)を選択する	15
オーディオ機器と接続する	15
デジタルステレオ対応アンプと接続する	16
5.1チャンネルステレオ対応アンプと接続する	16

基本的な使い方

本機の使い方	17
リモコンの使い方	18~21
MP3ファイルを再生する	22
MP3ファイルの再生についてのご注意	22
MP3ファイルを再生する	22
プログラム再生	22
JPEGファイルを再生する	23
JPEGファイルの再生についてのご注意	23
JPEGファイルを再生する	23

その他

初期設定	24~28
一般設定	25
オーディオ設定	26~27
映像設定	27
環境設定	28
パスワード設定	28
主な仕様	29
故障かな?と思ったら	30
さくいん	31
保証書	32

安全上の注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。



の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。



の記号は「しなければならない行為」を示します。



警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエムに修理をご依頼ください。

● 煙が出ている、変なおいや音がする（異常状態）

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエムに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 本機の内部に水などが入った

● 異物が本機の内部に入った

● 映像や音が出ないなど（故障状態）

● 落としたり、キャビネットを破損した



警告

電源について

■ 電源コード接続時の注意



次のことをお守りください。誤った使い方をすると、と、発熱などにより火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■ 電源コードを傷つけない



禁止

無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりなどの加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 差し込み部分は定期的に点検を



定期的に電源プラグを抜いて、プラグやコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こり火災の原因となります。

■ 電源電圧100V以外で使用しない



禁止

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災感電の原因となります。

■ 国外では使用しない



禁止

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■ 雷が鳴り出したら



接触禁止

電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

使用方法・設置

■ 分解しない



分解禁止

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店、または総発売元にご依頼ください。

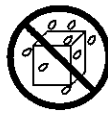
■ 本機の上に水などの入った容器を置かない



禁止

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

■ めらさない



みずぬれ禁止

- 本機をめらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

■ 異物を入れない



禁止

通風孔やディスプレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。(特に小さなお子様にはご注意ください。)火災、感電の原因となります。

■ 通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

■ 壁にぴったりつけない



禁止

本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



注意

■ 電源プラグを抜くときの注意



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意



- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない



禁止

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意



電源プラグを抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れない



指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。
(特に小さなお子さまにはご注意ください。)

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない



禁止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意



電源を入れる前に、接続しているアンプなどの音量を最小にしてください。また、音量の調節は音量レベルを確認しながらおこなってください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 他機器との接続について



テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない



禁止

携帯電話、テレビやモニターに近づけない。電磁波のためにテレビにノイズが発生し、画面のチラツキや携帯電話によるノイズの影響が生じることがあります。

■ 長時間使用しない場合やお手入れの際の注意



電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について



1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池(リモコン用)使用上の注意



乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単4形乾電池以外は使用しない。
- 極性(+)と(-)に注意し、表示通りに入れる。



禁止

- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。



- 長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。
もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に

取り扱いについて

- ・引っ越しなど遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ・ふだん使用しないときはディスクを取り出し、電源スイッチを切ってください。

設置場所について

本機を再生中、近くに設置したテレビやビデオ、ラジオの画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやビデオ、ラジオから離してください。

お手入れについて

- ・キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・化学そうぎんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

美しい画像を見るための点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質は損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

本機内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。

結露はこんなときおきます。

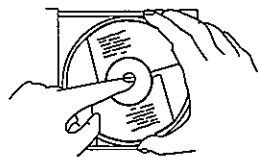
- ・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- ・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
- ・夏期に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたため、2～3時間で水滴がなくなります。またコンセントに接続しておくと結露（霜付き）が生じにくくなります。

ディスクの取扱いと保管

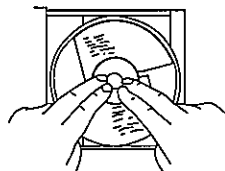
ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ



再生面に触れないように
持って取り出す。

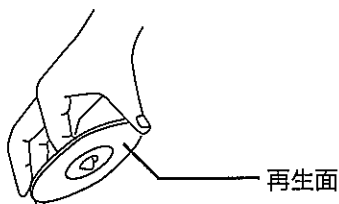
印刷面を上にして…



上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- ・再生面には手をふれないでください。



ディスクの保管のしかた

- ・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

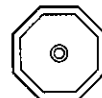
本機を持ち運びするときは

- ・ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスクについてのご注意

- ・ディスクに紙やシールを貼らないでください。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ・ハート形や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状ディスクの例)



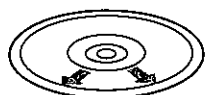
- ・ または  マークの入った CD/CD-R ディスクをご使用ください。
- ・ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因となることがあります。
- ・ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
- ・再生中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
- ・市販の CD スタビライザーは使用できません。
 - ◆本機に強い衝撃を与えたとき。
 - ◆薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
 - ◆ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。
その場合は音量を下げてください。

【コピーガード付き CD 再生について】

CD 規格に準拠しない「コピーガード付き CD」などのディスクについては、本機では再生できない場合があります。CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることを確かめください。なお、CD 規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

ディスクのお手入れのしかた

- ・ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



必ず内側から外側へ

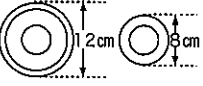
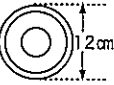
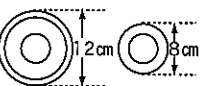
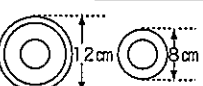
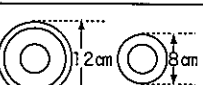


- ・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

- ・本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでくだ

再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

ディスク	ディスクの大きさ	マーク(ロゴ)	記録内容
DVD			音声+映像
MP3			音声
Video-CD (VCD)			音声+映像
CD-DA			音声
Kodak Picture			画像(写真)

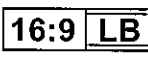
- 本機は NTSC テレビ (日本のテレビ) 方式以外のディスクでは正しく表示しません。
- CD-R では音楽 CD フォーマット、MP 3 形式の音楽データ、または JPEG の静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。
- DVD-R では DVD レコーダーなどでビデオフォーマットで記録されたもので、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- VR フォーマットで記録したディスクは再生できません。
- 本機は KodakCD に記録されている JPEG データを再生することが可能です。

DVD再生時の機能や操作について

DVDは、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。

ディスクやパッケージのマークについて

DVD ディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や使える機能を表しています。(DVD によっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。)

マーク	意味
	音声記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声(英語/スペイン語/日本語など)が記録されています。
	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
	アングルの数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
 ピクチャサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り替えられるものがあります。
	再生可能なリージョン番号を表します。(下記を参照ください。)

認定されていないディスクについて

正式な販売地域以外の DVD ディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。正式な販売地域以外の DVD ディスクを再生しようとすると、「再生できない地域番号のディスクです。」というメッセージが画面に表示されます。



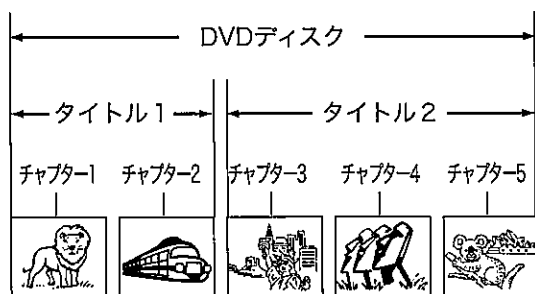
本機のリージョン番号は「2」です。
リージョン番号が「2」、または「ALL」の DVD を本機で再生することができます。

タイトル、チャプター、トラックについて

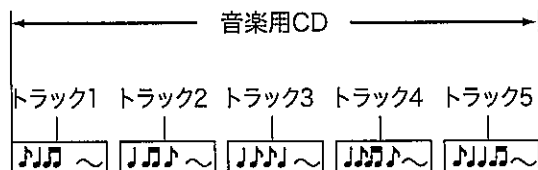
DVDは、タイトルという大きい区切りと、チャプターという小さい区切りに分かれています。

音楽用CDは、トラックで区切られています。

例：DVD



例：音楽用CD

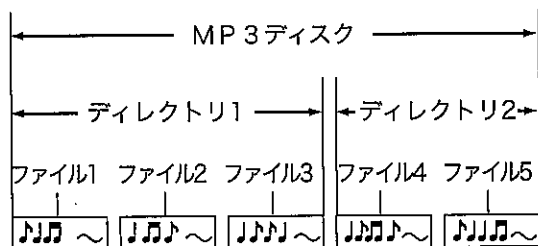


それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号をタイトル番号、チャプター番号、トラック番号といいます。

ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

MP3について

MP3とはMPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを呼びます。



JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを呼びます。

著作権について

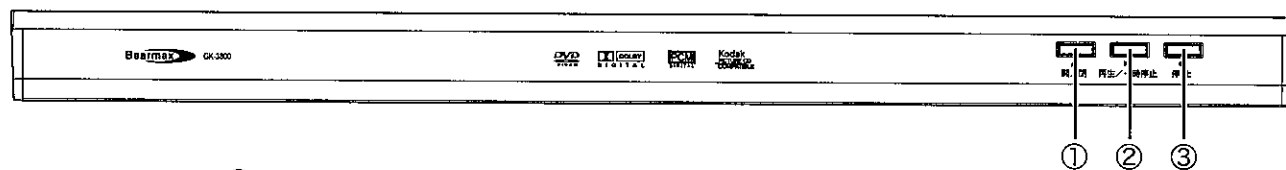
ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

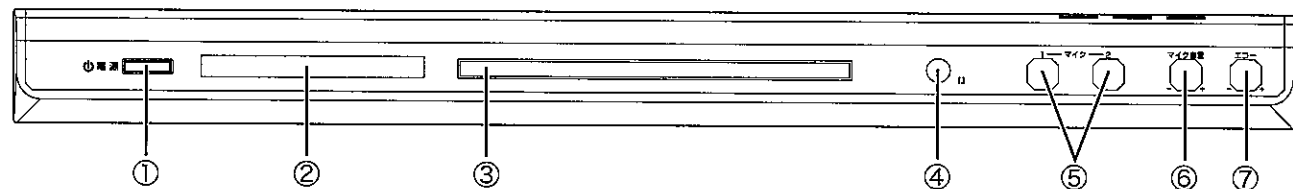
再生中再生後の音量にご注意ください

DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。DVDの場合は音声出力モード（5.1chか2chかなど）によっても音声レベルが変わることがあります。音量を上げたDVDや音楽CDを再生中、そのまま入力切り換えをすると大きな音が出ることがありますので、ご注意ください。事前に音量を下げるよう心がけてください。

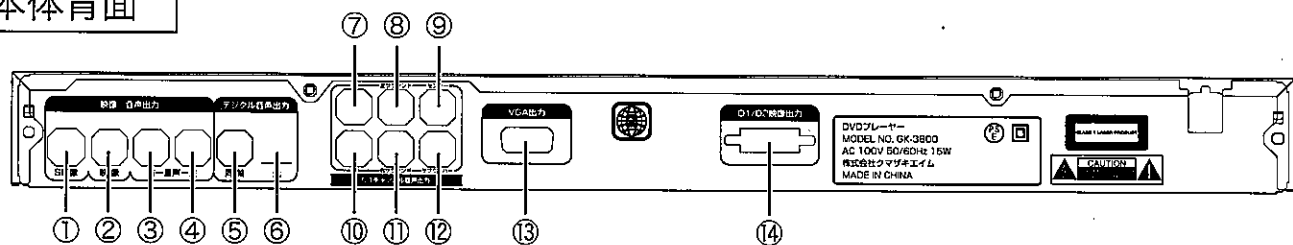
本体上面



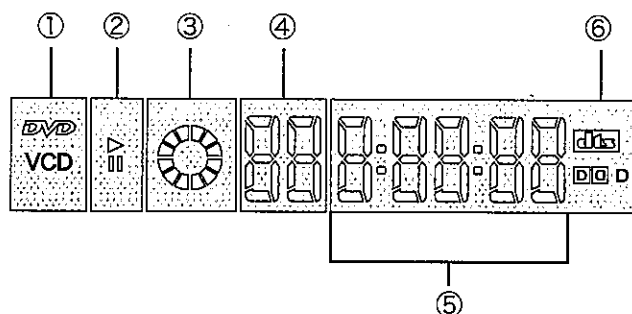
本体正面



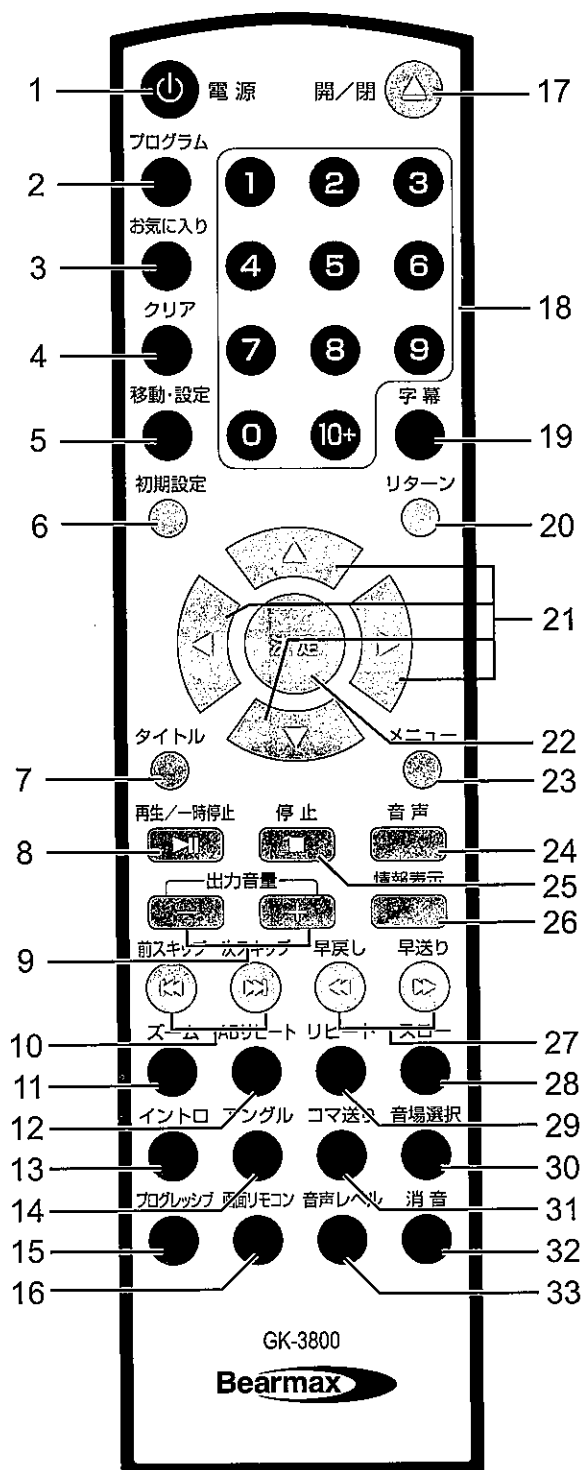
本体背面



表示窓



リモコン



1. 電源入/切(スタンバイモード)
2. プログラム再生
3. お気に入り記録再生
4. クリア
5. 移動再生・設定変更
6. 初期設定
7. タイトルメニュー表示
8. 再生/一時停止
9. 出力音量
10. スキップ(前/次)
11. ズーム再生
12. A-Bリピート再生
13. イン트로再生
14. アングル切換
15. プログレッシブ/インターレース切換
16. 画面リモコン
17. ディスクトレイ開閉
18. 数字
19. 字幕切換
20. メニュー表示
21. 方向
22. 決定
23. メニュー
24. 音声切換
25. 停止
26. タイトル/チャプター情報表示
27. 早戻し/早送り再生
28. スロー再生
29. リピート再生
30. 音場選択
31. コマ送り再生
32. 消音
33. 音声レベル表示

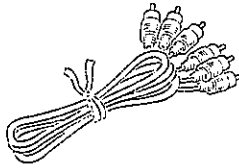
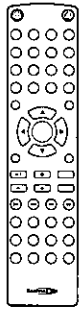
付属品を確認める

・リモコン

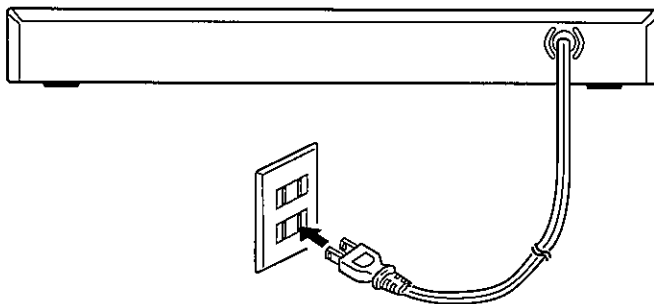
・音声・映像接続コード×1

・リモコン用単4乾電池×2本

・取扱説明書(本書)



電源コードの接続



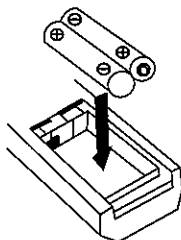
AC100Vコンセントへ

電源コード
(コード長約1.8m)

- 電源コードを抜き差しするときは、電源ボタンで電源を切ってからおこなってください。

リモコン用電池の入れ方

1. 電池ふたのつまみを押し、ふたを開けます。
2. 単4形乾電池2本を、極性+を正しく入れて、ふたを閉めます。
乾電池は、-マイナス側を先に入れてから、+プラス側を入れます。

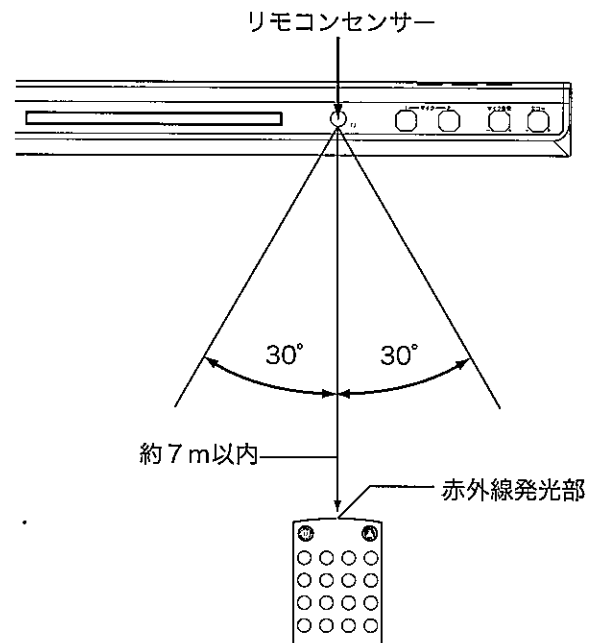


乾電池の交換について

- 電池が消耗してくると、リモコン操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものに交換してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使える範囲

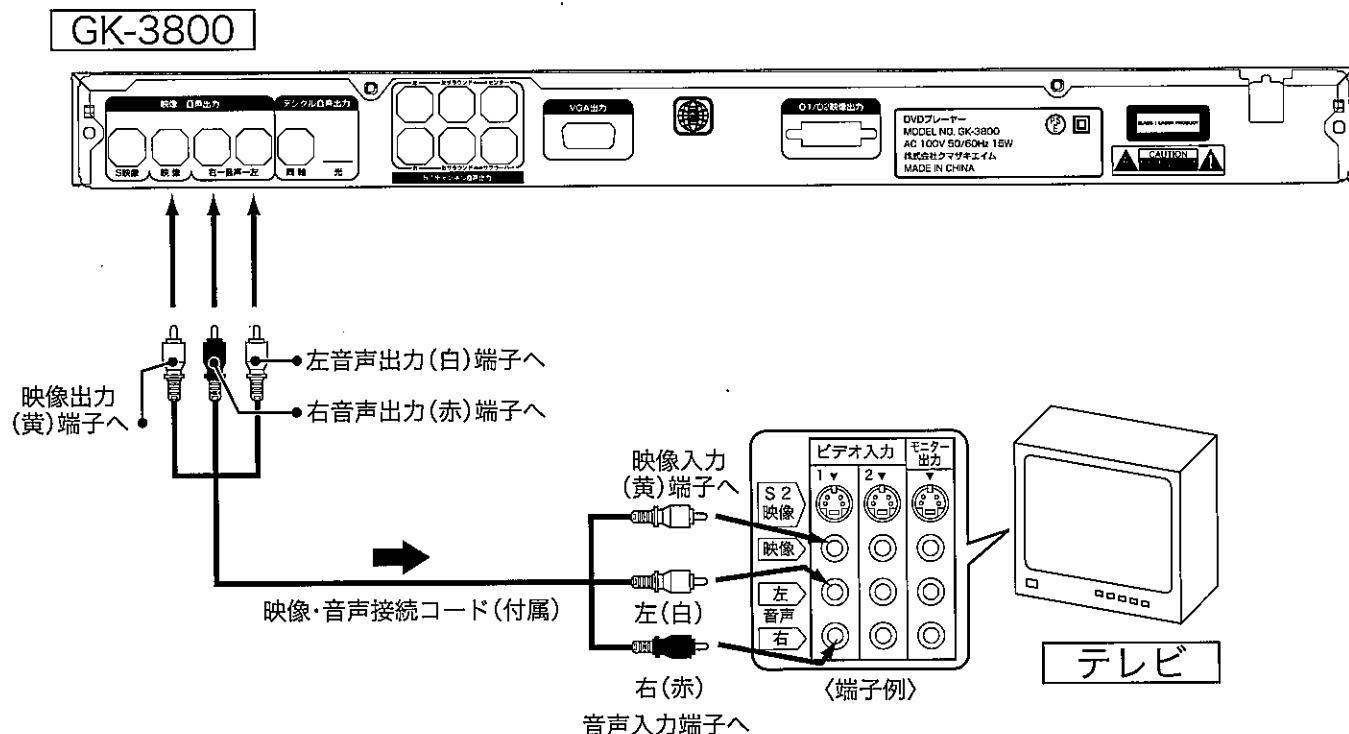
水平(垂直)方向で左右(上下)30度ずつ、直線距離で約7mまでの範囲です。



- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

接続する

テレビと接続する



- すべての接続が完了したら、テレビの画面サイズ設定(「4:3PS」、「4:3LB」、「16:9」)をあわせてください。(25 ページ)
- プログレッシブ方式に対応したテレビと接続するときは、D1/D2 映像出力端子をご使用ください。(14 ページ)
- テレビがモノラルの場合は、映像・音声接続コード(黄・白)をテレビに接続します。(赤)を接続する必要はありません。
- 接続したテレビの端子に合わせて、外部入力を切り換えてください。(例:「ビデオ1」「ビデオ2」)

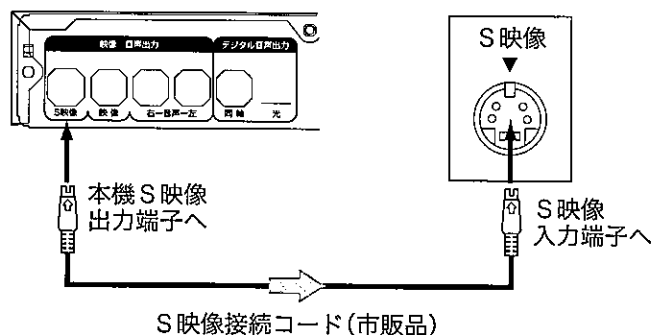
接続時の注意

- ・他の機器を接続するときは、本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- ・本機とテレビは直接接続してください。コピー防止機能の働きにより画像が乱れることがあります。
- ・接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ・本機の電源コードを、コンセントにつないだり抜くときは、接続しているアンプの電源スイッチを切ってください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めることがあります。

S映像入力端子のあるテレビと接続する場合

テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像入力端子を接続するとよりきれいな映像が楽しめます。このとき、付属の映像接続コード（黄）は外してください。

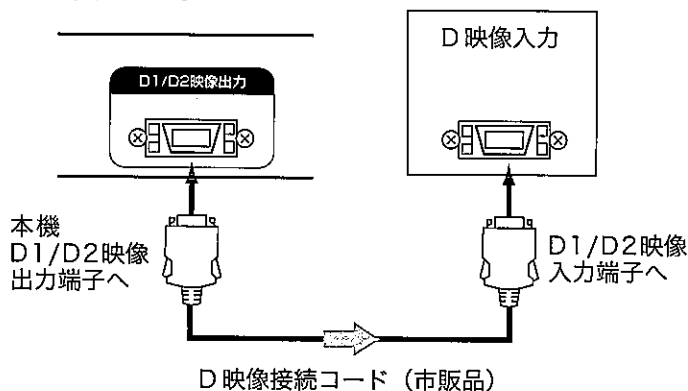
1. 市販のS映像接続コードで本機のS映像出力端子とテレビのS映像入力端子を接続する。
2. 市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力（左/右）端子とテレビの音声入力端子を接続する。



D端子のあるテレビと接続する場合

本機のD1/D2映像出力端子の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することにより、高画質の映像を楽しむことができます。本機のD1/D2映像出力端子は、接続する機器のD1、D2、D3、D4のいずれの端子にも接続することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式、両方の映像出力方式に対応しています。

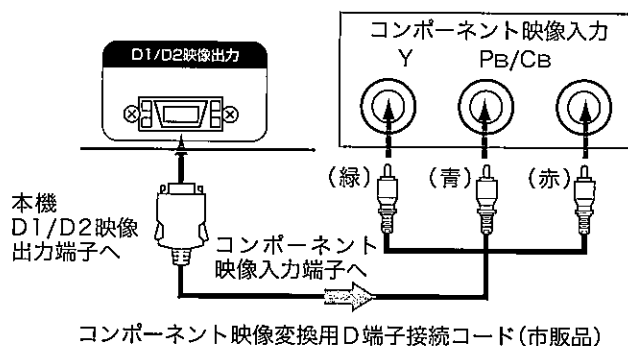
1. 市販のD端子映像接続コードで本機のD1/D2映像出力端子とテレビのD映像入力端子を接続する。
2. 市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力（左/右）端子とテレビの音声入力端子を接続する。
3. 本機の映像出力方式を、接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。



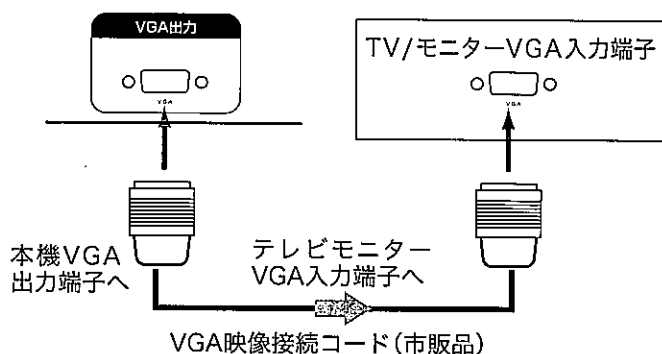
コンポーネント映像入力端子のあるテレビと接続する場合

本機のD1/D2映像出力端子は、コンポーネントビデオ入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することができます。輝度、コンポーネント信号が独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式両方の映像出力方式に対応しています。

1. 市販のD端子映像接続コードで本機のD1/D2映像出力端子とテレビのコンポーネント入力端子を接続する。
2. 市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力（左/右）端子とテレビの音声入力端子を接続する。
3. 本機の映像出力方式を、接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。



VGA(ビデオグラフィックアレイ)で接続する場合



1. 市販のVGA映像接続コードで本機のVGA出力端子とテレビのVGA入力端子を接続する。
2. 市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力（左/右）端子とテレビの音声入力端子を接続する。
3. 本機の映像出力方式を、接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。

注意

D1/D2映像出力端子とS映像出力端子は両方同時に接続しないでください。テレビ画面が乱れることがあります。

映像信号の出力方式(インターレースまたはプログレッシブ)を選択する

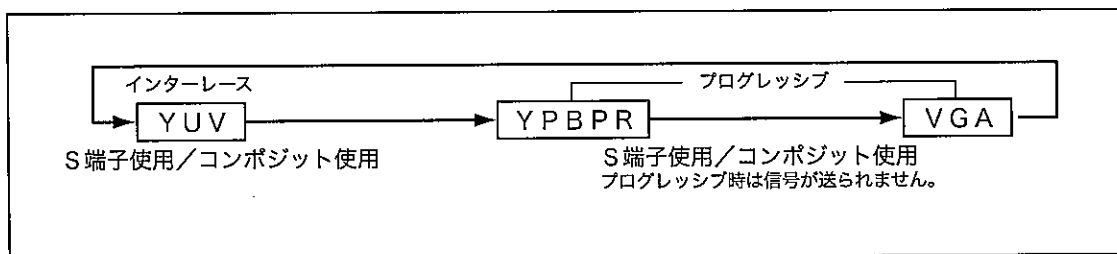
D1/D2 映像出力端子に接続したテレビなどに合わせて、映像信号の出力方式を選択します。プログレッシブ方式では、画像のチラツキがおさえられ、解像度も良くなります。

1. プログレッシブボタンを押して出力方式を選びます。

リモコンのプログレッシブボタンを押します。テレビ画面に「YUV (インターレース) または「YPBPR (プログレッシブ)」が表示されます。

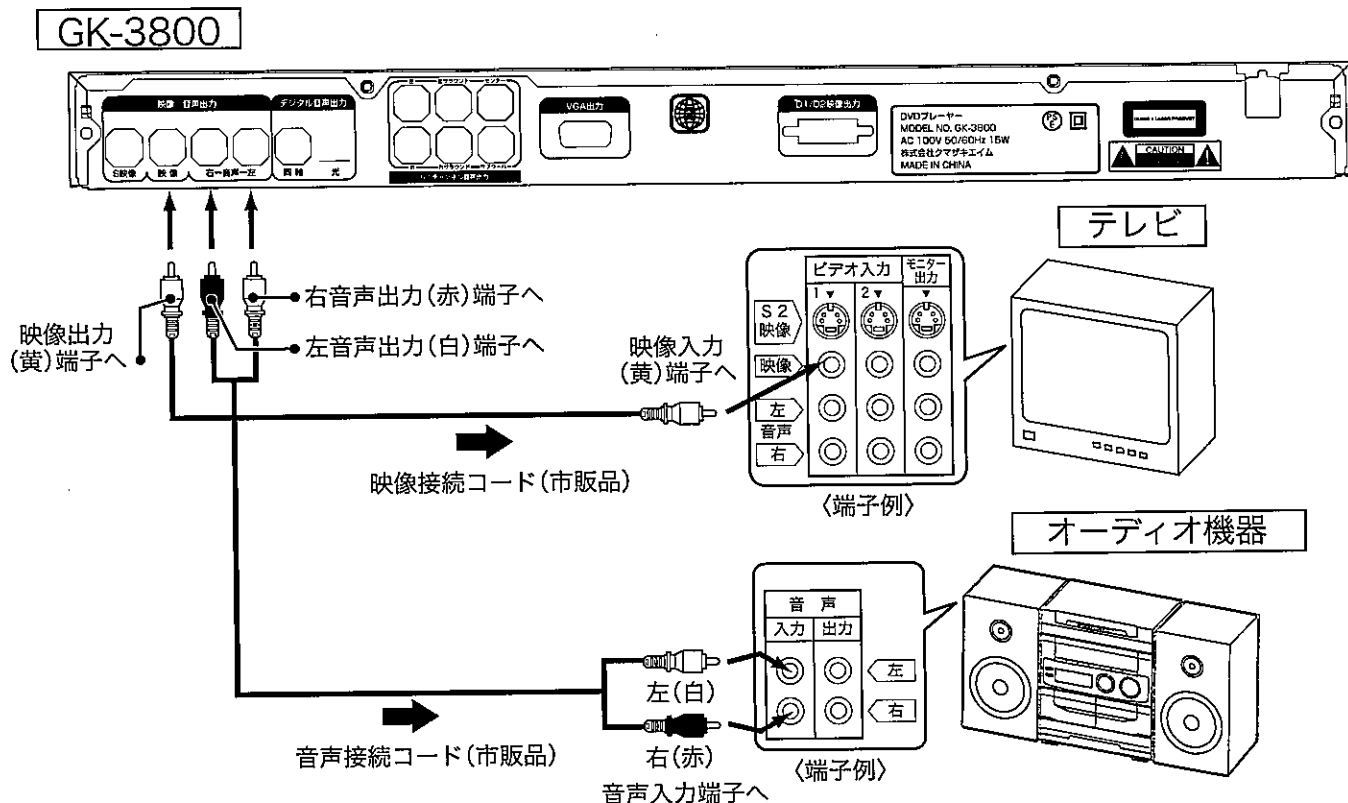
2. ボタンを押すたびに下図のように切り換えます。

- ・YUV (インターレース) : 通常のテレビなど (インターレース方式) に接続しているときに選択します。
- ・YPBPR (プログレッシブ) : プログレッシブ方式に対応したテレビなどに接続しているときに選択します。



※テレビがプログレッシブ対応していなければテレビ画面は正常に映りません。出力方式をインターレース方式に設定しなおしてください。

オーディオ機器と接続する

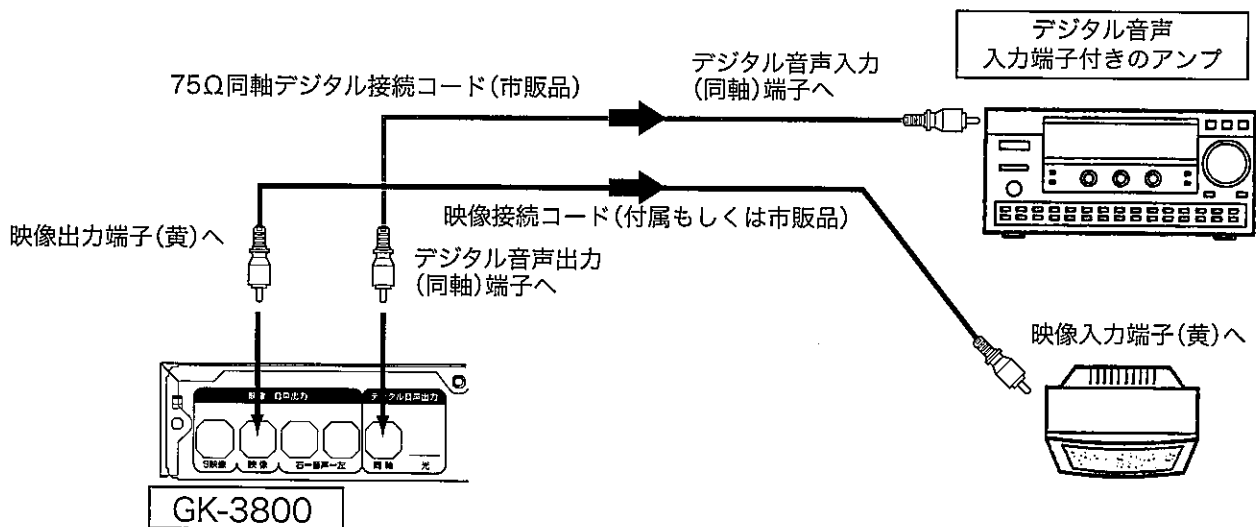


注意

本機をプログレッシブ方式に対応するテレビ等に接続してプログレッシブ出力した場合に、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをお勧めします。

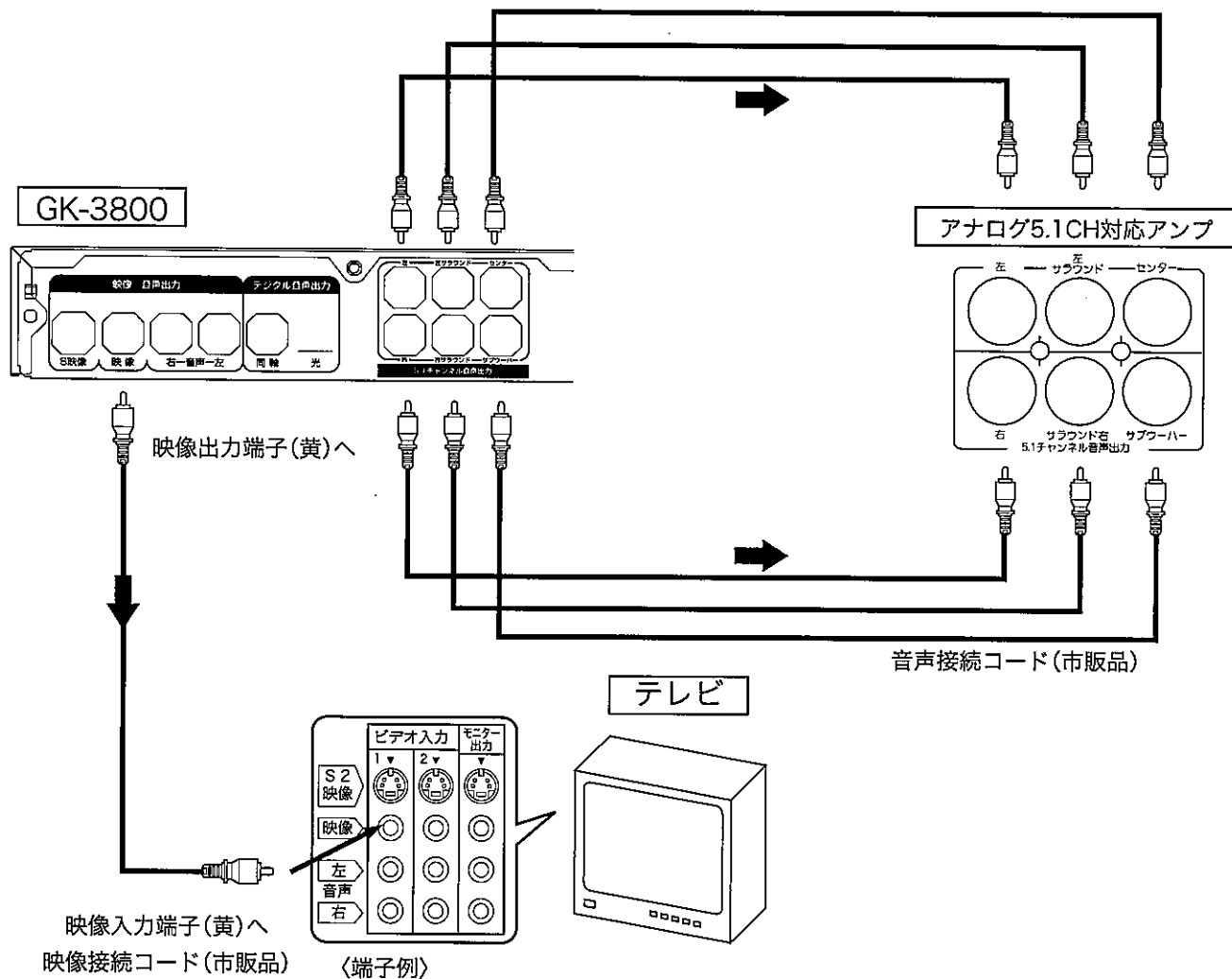
デジタルステレオ対応アンプと接続する

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステムにつないで、2チャンネルまたは、5.1チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しむことができます。



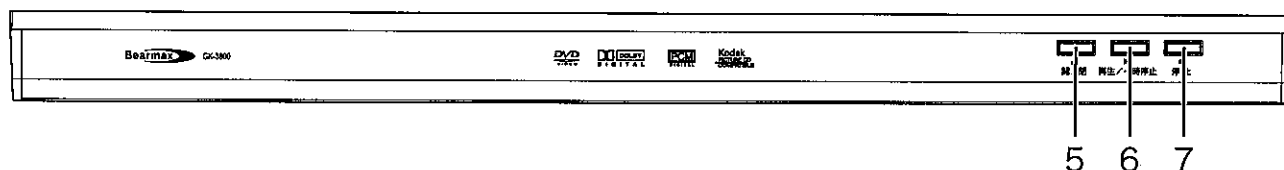
アナログ5.1CH対応アンプと接続する

5.1CHサラウンドシステムに接続し、迫力ある音響効果を楽しむことができます。

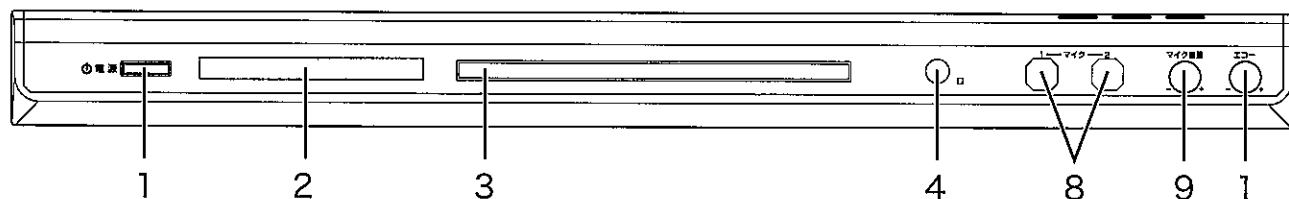


本機の使い方

本体上面



本体正面



1. 主電源入 / 切ボタン

電源の入 / 切ができます。

2. 表示窓

ディスクの情報や、操作状況を表示します。

3. ディスクトレイ

DVD や CD をセットします。印刷面を上、読み取り面を下に向け、セットします。

4. リモコンセンサー

リモコンの信号を受け取ります。

5. 開閉ボタン

ディスクトレイが開きます。再度押すと閉じます。

6. 再生 / 一時停止ボタン

再生：ディスクを再生します。

一時停止：再生中に押すと一時停止します。

再び押すと停止した所から再生を再開します。

7. 停止ボタン

停止します。

8. マイク音声入力端子

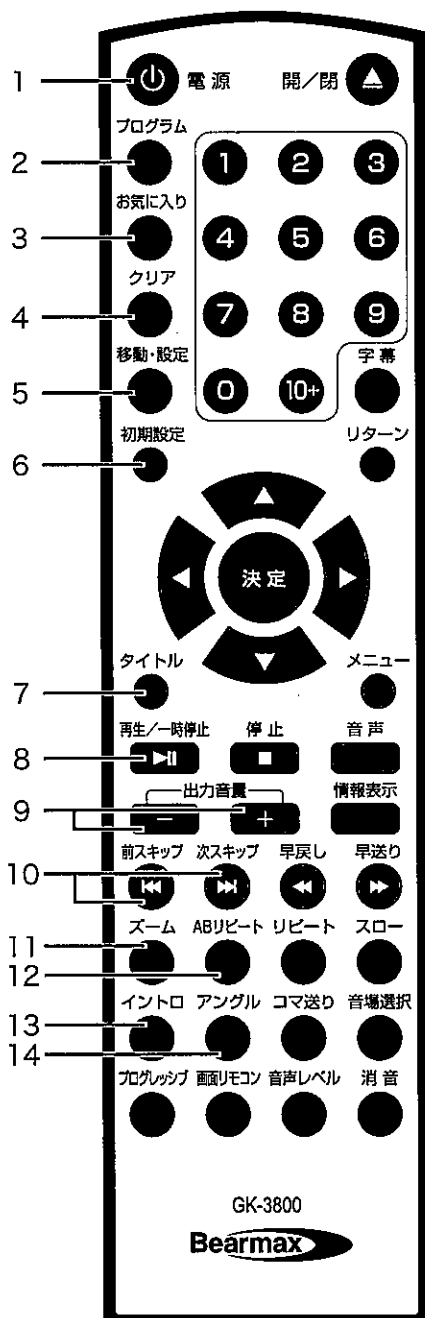
市販のマイクを接続し、マイク音声の出力ができます。
カラオケなどお楽しみいただけます。

9. マイク音量調整ツマミ

接続したマイクの音量調節ができます。

10. マイクエコー調整ツマミ

接続したマイクのエコーを調整します。



1. 電源入 / 切ボタン

電源の入 / 切ができます。

電源切の状態でスタンバイモードになります。

2. プログラム再生ボタン

2つ以上のタイトルやチャプターがあるDVD/CD/MP3の場合、再生する順番の設定ができます。

①プログラム再生ボタンを押すと、設定ページが下図のように表示されます。

②数字ボタンで、TT (タイトル) と CH (チャプター) 番号を入力します。

③入力が終わったら「開始」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。

プログラム : TT(→)/CH(→)

1 TT: _ CH: _ 6 TT: _ CH: _

2 TT: _ CH: _ 7 TT: _ CH: _

3 TT: _ CH: _ 8 TT: _ CH: _

4 TT: _ CH: _ 9 TT: _ CH: _

5 TT: _ CH: _ 10 TT: _ CH: _

終了 開始 次へ

3. お気に入りボタン

DVD や CD の再生中にお気に入りボタンを押すと、その場面を記憶させることができます。

(録画機能ではありません。)

①お気に入りボタンを押すと、下図の設定画面が表示されます。

②DVD/CD再生中に、記憶させたい場面でリモコンの再生ボタンを押します。スペースに数字が表示され、お気に入りの場面が登録されます。(記憶)

③記憶させた場面を再生したいときは、リモコンの方向ボタンで記憶させた場面の番号を選択し、再生ボタンを押します。

④お気に入りボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ブックマーク

1					

再生キーを押して再生
クリアーキーを押して消去

4. クリアーボタン

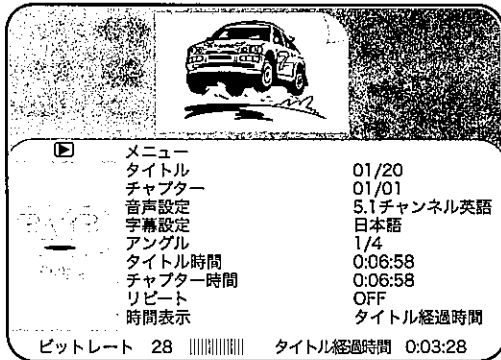
入力した値を削除します。

5. 移動・設定ボタン

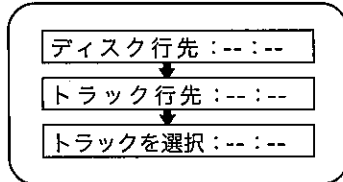
移動：選択した場面に移動し、再生ができます。

- ①ボタンを押すと、下図の画面が表示されます。
- ②リモコンの方向ボタンで移動したいタイトル/チャプター/トラックの項目を選択し、決定ボタンを押します。
- ③移動したいタイトル/チャプター/トラックの数字、または時間を数字ボタンで入力します。
- ④選択した場面が上部にプレビュー表示されます。
- ⑤移動・設定ボタンを押すとプレビューが継続して再生されます。

DVDの場合



CDの場合



ディスク行先：ディスク内で移動したい時間が入力できます。

トラック行先：曲内で移動したい時間が入力できます。

トラックを選択：移動したいトラックの数字が入力できます。

設定：音声/字幕/アングル/リピート再生の設定/変更ができます。

6. 初期設定ボタン

初期設定のメニュー画面に切り換わります。
(詳細はP26~28を参照。)

7. タイトルボタン

タイトルメニュー画面に戻ります。
※本機能対応ディスクのみ有効です。

8. 再生/一時停止ボタン

再生：ディスクを再生します。
一時停止：再生中に押すと一時停止します。
再び押すと通常の再生を再開します。

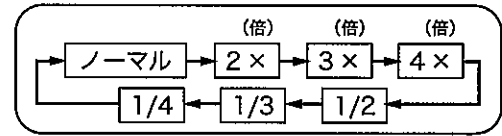
9. 出力音声ボタン

10. スキップ前/次ボタン

前または次のチャプター/トラックにスキップして再生します。

11. ズームボタン

ズームボタンを押す毎に下図のように画面の倍率が切り換わります。



12. A-B リピートボタン

指定した場面の間を繰り返し再生します。

- ①繰り返し再生を始めたい場面でA-Bリピートボタンを押します。
- ②終了させたい場面でA-Bボタンを押します。指定した間を繰り返し再生します。
- ③再度A-Bボタンを押すと、元の画面に戻ります。

13. イン트로ボタン

タイトル・チャプターのダイジェストもしくは、イントロ再生ができます。

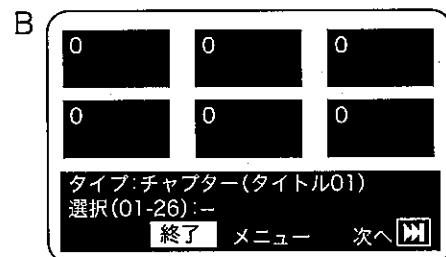
- ①再生中にイントロボタンを押すと、下図Aが表示されます。

A

ダイジェスト選択:	
タイトルダイジェスト	再生中ディスク内のタイトルを一覧表示します。
チャプターダイジェスト	再生中タイトル内のチャプターを一覧表示します。
タイトルインターバル	再生中タイトルを10分ごとに分け一覧表示します。
チャプターインターバル	再生中チャプタを10分ごとに分け一覧表示します。

- ②方向ボタンで再生したい項目を選択し、決定ボタンを押します。

- ③下図Bが表示されます。リモコンの方向ボタンで、再生したいチャプター・トラックを選択し、決定ボタンを押すと、再生を開始します。

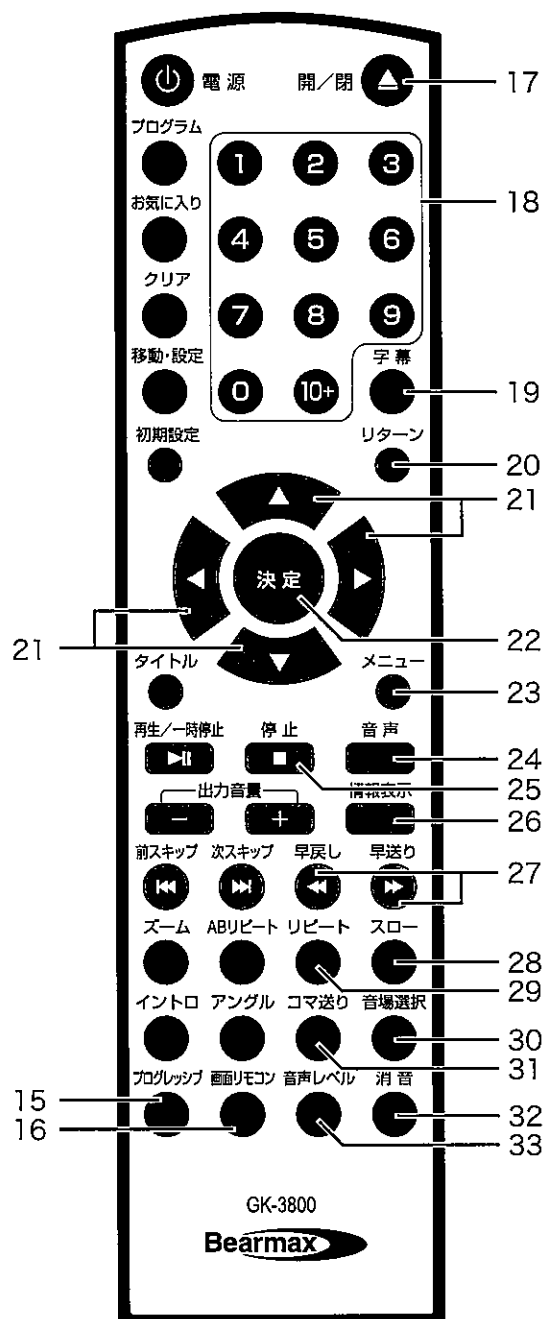


14. アングルボタン

DVDのアングルを切り換えます。アングルボタンを押すたびに、下図のように切り換わります。

※複数のアングルで記録されたDVDのみ、ご使用になれます。



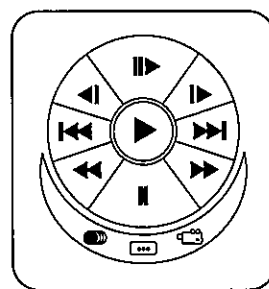


15. プログレッシブボタン

プログレッシブまたはインターレースの切り換えをします。プログレッシブ対応のテレビに接続した際に設定をします。(P13～14を参照。)

16. 画面リモコンボタン

再生中に画面リモコンボタンを押すと下図が表示されます。リモコンの方向ボタンで選択したいマークに移動し、決定ボタンを押します。選択されたマークは黄色に変わります。



▶▶▶ : コマ送りボタン
 ◀◀◀ : スロー再生ボタン
 ● : 音声ボタン
 ... : 字幕ボタン
 ◀ : アングルボタン
 ※その他のボタンはリモコンと同じ機能です。

17. 開 / 閉ボタン

ボタンを押すとディスクトレイが開きます。再度押すとトレイは閉じます。

18. 数字ボタン (0～9、10+)

数字を入力する時に使用します。10以上の番号を入力する時は10+を使います。

例: 「11」を入力する場合

⑩+ を押してから ① を押す。

19. 字幕ボタン

字幕の設定を選ぶことができます。

※本機能は、他種類字幕が記録されたディスクのみ有効です。

20. リターンボタン

メニュー画面に戻ります。

21. 方向ボタン

カーソルを移動させる時に使います。

22. 決定ボタン

選択したものを確定させる時に使います。

23. メニューボタン

1 回押すとサブメニュー
 2 回押すとメインメニュー } に戻ります。

※本機能は、サブメニュー・メインメニューが記録されているディスクのみ有効です。

24. 音声ボタン

音声の設定を選ぶ事ができます。

※本機能は、他種類音声のディスクのみ有効です。

25. 停止ボタン

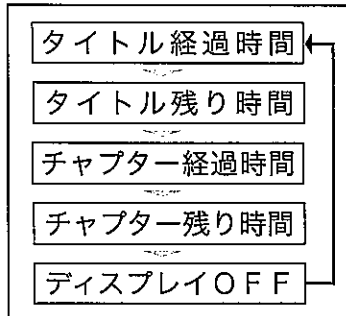
再生を停止させます。

1回押すと、モニターに「再生キーでリジューム」が表示され仮停止状態になります。再度再生ボタンを押すと、仮停止した所から再生がスタートします。

2回押すと本停止状態になります。再度再生ボタンを押すと、最初の場面からスタートします。

26. 情報表示ボタン

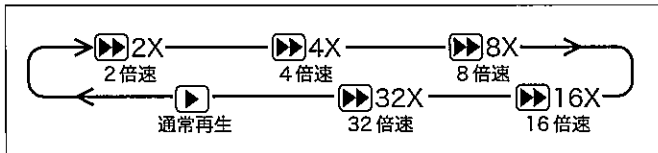
タイトル・チャプターの経過時間と残り時間が表示されます。1回押すたびに、下図のように切り換わります。



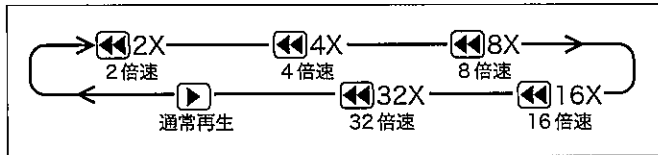
27. 早送り / 早戻しボタン

このボタンを押すと、2倍～32倍で早送り・早戻しができます。1回押すたびに、下図のように切り換わります。

早送り



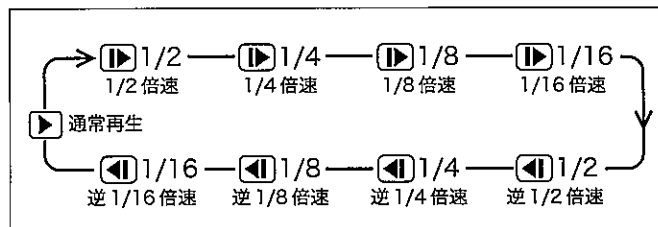
早戻し



28. スローボタン

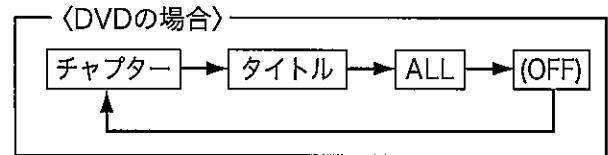
スローモーション再生ができます。1回押すたびに、下図のように切り換わります。

※本機能はDVDのみ有効です。



29. リピートボタン

繰り返し再生ができます。1回押すたびに、下図のように切り換わります。

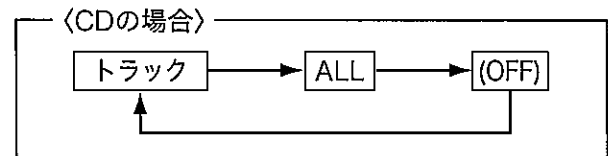


チャプター：チャプターを繰り返し再生

タイトル：タイトルを繰り返し再生

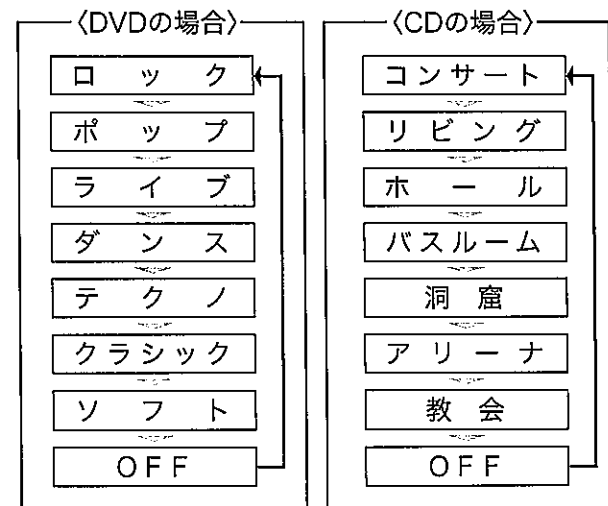
ALL：すべてを繰り返し再生

(OFF)：リピート機能OFF（画面は無表示）



30. 音場選択ボタン

音場を選ぶことができます。1回押すたびに、下図のように切り換わります。



31. コマ送りボタン

静止画再生をします。再度ボタンを押すと、次の静止画を再生します。

32. 消音ボタン

音が消えます（ミュート）。再度ボタンを押すとテレビ画面に「ミュート OFF」が表示され、元の再生状態に戻ります。

33. 音声レベルボタン

再生中にこのボタンを押すと、音の波を解析します。3回押すと、元の再生状態に戻ります。

CD-R/CD-RW などに記録されている MP3 形式の音楽ファイルを再生することができます。

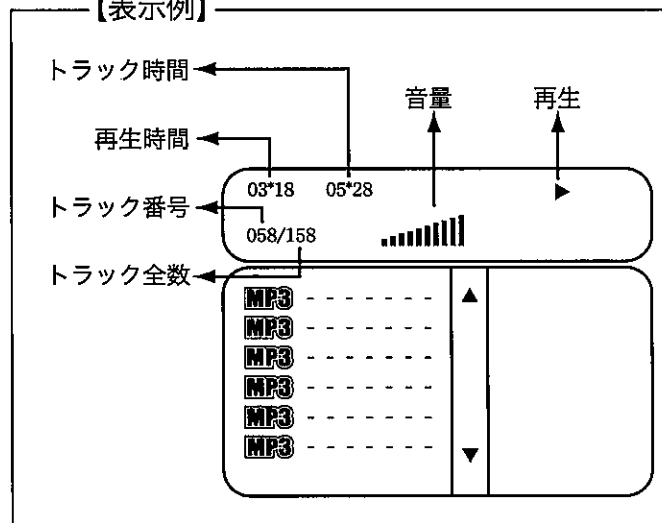
MP3ファイルを再生する

1. テレビまたはオーディオ機器と接続し、本機の電源を入れます。
2. 本体の開 / 閉ボタンを押します。
ディスクトレイが開き、本体の表示窓に「OPEN」が表示されます。
3. ディスクをディスクトレイに置きます。
再生面を下にして溝にそって正しく置きます。



4. 開 / 閉ボタンを押します。
ディスクトレイが閉まり、本体の表示窓に「LOAD」が表示されます。テレビ画面にメニューが表示されます。

【表示例】



5. リモコンの方向ボタンを押して、再生したいファイルを選びます。
ファイルを選択し、リモコンの決定ボタンで確定します。
再生が始まります。

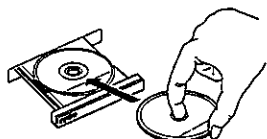
⚠ MP3ファイル再生についてのご注意

- ISO9660 (レベル1, レベル2) フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- オーディオ CD トラックと MP3 ファイルが混在した CD はオーディオ CD トラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、MP3 ファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高音質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbbs以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、ディレクトリ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は「_」(アンダーバー)で表示されます。
- ファイル/ディレクトリ数は最大256まで対応しています。257以降のファイルは再生できません。
- MP3CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- IDタグ Ver.1に対応していますが、32文字までの表示となります。表示可能文字は、半角英数字の限定となり、エンコードソフトにより正常に表示しない場合があります。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、それぞれの製造元にご確認ください。
- パケットライトソフト、Romeo形式、HFS形式には対応していません。
- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレートは、-32kHz、44.1kHz、48kHz、32kbbs～320kbbs(固定または可変のビットレート)になります。

JPEGファイルを再生する

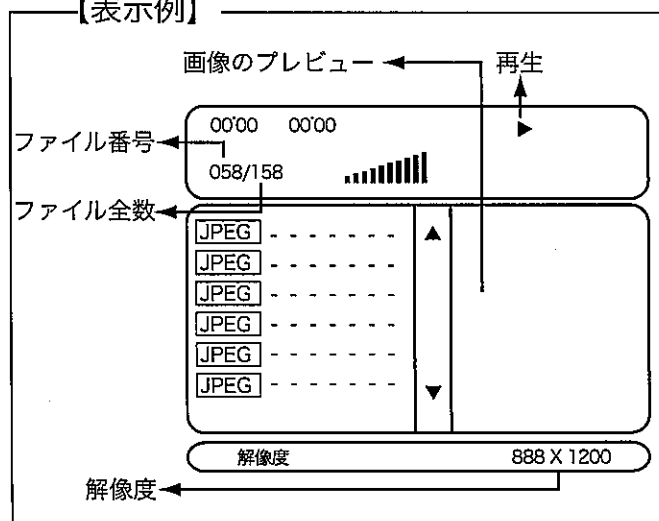
JPEGファイルを再生する

1. テレビまたはオーディオ機器と接続し、本機の電源を入れます。
2. 本体の開 / 閉ボタンを押します。
ディスクトレイが開き、本体の表示窓に「OPEN」が表示されます。
3. ディスクをディスクトレイに置きます。
再生面を下にして溝にそって正しく置きます。



4. 開 / 閉ボタンを押す
ディスクトレイが閉まり、本体の表示窓に「LOAD」が表示されます。テレビ画面にメニューが表示されます。

【表示例】



5. 方向ボタンを押して、見たい画像を選びます。
6. リモコンの決定、または再生ボタンを押します。

決定した画像以降が順にスライドショー再生します。
※再生を始めるまで、10 秒程度時間がかかる場合があります。

- 方向ボタンで、画像の回転ができます。

- ▲ 180°回転
- ▼ 反転
- ◀ 左に 90°回転
- ▶ 右に 90°回転

- 再生中にズームボタンを押してから早送り / 早戻しボタンを押すと、拡大 / 縮小表示をします。

ズームボタン+サーチ ▶ 125% → 150% → 200%

ズームボタン+サーチ ◀ 75% → 50%

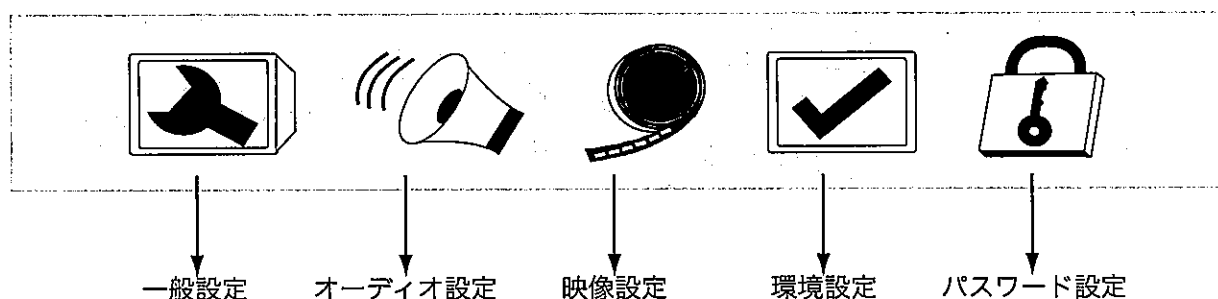
- 再生中にプログラムボタンを押すと、画像切換方法の変更ができます。

⚠ JPEGファイル再生についてのご注意

- ISO9660 (レベル1, レベル2) フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- JPEG 形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
- オーディオ CD トラックと JPEG ファイルが混在した CD は、オーディオ CD トラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、JPEG ファイルを読み取るのに 30 秒以上かかることがあります。
- ファイル名、ディレクトリ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は「_」(アンダーバー) で表示されます。
- ファイル / ディレクトリ数は最大 256 まで対応しています。257 以降のファイルは再生できません。
- ファイルサイズが大きい場合は、テレビ画面に表示するのに時間がかかることがあります。
- 記録された順序で画像を再生できないことがあります。
- 記録状態により画像を再生できないことがあります。

リモコンの初期設定ボタンを押すと、テレビ画面に下図の設定メニューが表示されます。

〈設定メニュー〉



設定をするには

- ① 方向ボタン **▶** で設定したいメニューを選び、決定ボタンを押します。
- ② 方向ボタン **▼** と **▲** で、設定項目を選択し、**▶** ボタンで、設定内容を選択します。最後に、決定ボタンで確定してください。。
- ③ 項目の設定が終了したら、方向ボタン **◀** を押します。黄色の選択エリアがない状態で、設定メニューの切り換えができます。
- ④ 初期設定ページを終了する時は、再び初期設定ボタンを押してください。



一般設定

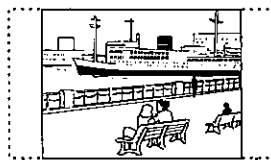
一般設定ページ		
TV	LB	4:3パンスキャン 4:3レターボックス 16:9ワイド
アングル	ON	ON, OFF
OSD言語	日本語	英語、日本語
キャプション	ON	ON, OFF
スクリーンセーバー	ON	ON, OFF
ラストメモリ	ON	ON, OFF

・TV

テレビの種類を選びます。

- ☐ 標準/PS 4:3 画面テレビ (パンスキャン)

ワイド画像は映像の左右をカットして表示。



カット

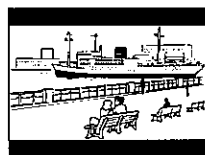
カット

通常のテレビ (4:3) に接続したときに選択してください。

パンスキャンに対応したワイド画像 (16:9) のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画像 (16:9) のディスクではレターボックスで再生します。

- ☐ 標準/LB 4:3 画面テレビ (レターボックス)

ワイド画像は映像横長のまま、上下は黒く表示。



通常のテレビ (4:3) に接続したときに選択してください。ワイド画像 (16:9) のディスクを再生したとき、レターボックス (上下に黒い帯のある画面) で再生します。

- ☐ ワイド 16:9 画面のワイドテレビ



ワイドテレビ (16:9) に接続したときに選択してください。ワイド画像 (16:9) のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。

※ディスクによっては、本機でテレビの種類を設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。

※テレビに出力される映像は、ソフトや接続するテレビによって異なります。

・アングル

マルチアングル対応の DVD ソフトを再生するときに使用できます。

- ☐ ON —アイコン表示する

(アイコン「」 —3アングル—を表示)

- ☐ OFF

・OSD言語

画面表示の言語を選びます。

- ☐ ENGLISH 英語表示

- ☐ 日本語 日本語表示 (初期設定)

・キャプション

(キャプション対応の DVD ディスクのみ可)

- ☐ ON

- ☐ OFF

・スクリーンセーバー

ブラウン管の焼き付き防止のため約 3 分間使われていないと、DVD のロゴを画面上に表示します。

- ☐ オンスクリーンセーバーを有効にする

- ☐ オフスクリーンセーバーを無効にする

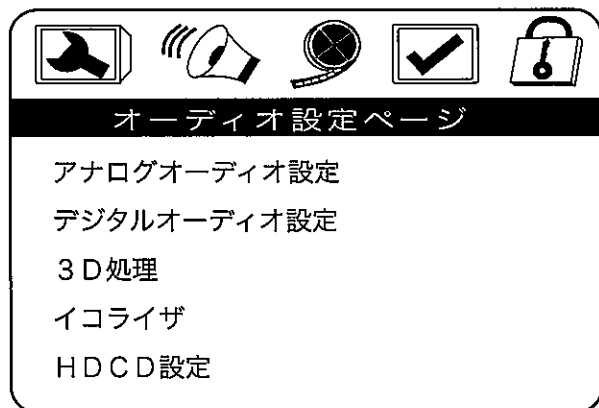
・ラストメモリ

最後に停止した位置をメモリーしておくことができます。

- ☐ ON

- ☐ OFF

オーディオ設定



・アナログオーディオ設定

ダウンミックス

LT/RT: 左右ミックスモード
ステレオ: 通常のステレオ
5.1 チャンネル: 5.1 チャンネルで使うとき

フロントスピーカー

フロントスピーカーの音量の大きさを調整します。
大 / 小

センタースピーカー

センタースピーカーの音量の大きさを調整します。
(ダウンミックスで5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
大 / 小 / OFF

リアスピーカー

リアスピーカーの音量の大きさを調整します。
(ダウンミックスで5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
大 / 小 / OFF

サブウーハー

サブウーハーのスイッチ入切を設定します。
ON / OFF

テストトーン

つないだスピーカーからテスト音を出します。
(ダウンミックスで5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
ON / OFF

ダイアログ

音量の調節をします。
(ダウンミックスでLT/RTかステレオを選択した時のみ有効です。)
・レベル 0 ~ 20

チャンネルトリム

チャンネルごとに音量の設定ができます。
センターディレイ / 左 / 右 / リアディレイ /
リアサラウンド / サブウーファー

・デジタルオーディオ設定

デジタル出力

- ・SPDIF オフ
アナログ端子でテレビやオーディオを接続しているとき。
- ・RAW ドルビー
デジタル等のデコーダー内蔵アンプを接続しているとき。
- ・PCM ONLY
2 ch デジタルアンプを接続しているとき。

ダイナミック

音質をそこなうことなく、響きやすい高音のレベルを下げます。
・OFF ~ FULL

LPCM 出力

お使いの接続機器に合わせて設定してください。
・48K
・96K

・3D処理

アナログオーディオ設定で、5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。

PRO LOGIC II

ON / OFF / 自動

モード

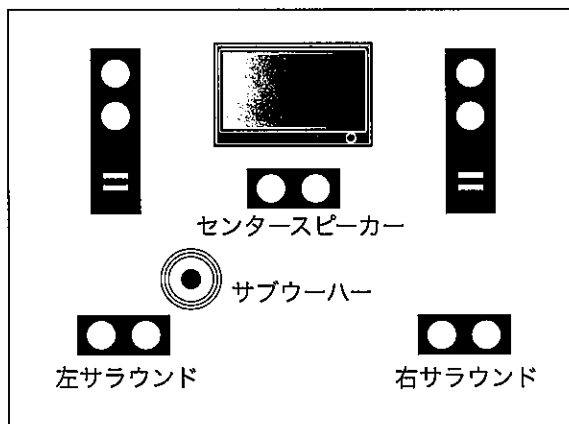
音楽 / 映画

リバースモード

音場の設定ができます。
OFF / コンサート / リビング / ホール /
バスルーム / 洞窟 / アリーナ / 教会

チャンネルディレイ

スピーカーの位置をマニュアルで設定することにより、リバースモードでさらに臨場感を出すことができます。



チャンネルディレイを設定するには

- ①方向ボタン▲と▼でチャンネルを選択します。
- ②方向ボタン▶と◀で、スピーカーの距離を入力し、決定ボタンを押して確定します。
- ③方向ボタン◀でオーディオ設定トップページに戻ります。

・イコライザ

サウンドモード

聞く音楽に合わせて設定してください

OFF / ロック / ポップ / ライブ / ダンス /
テクノ / クラシック / ソフト

バスブースト Bass Boost (低音強調)

ON / OFF

スーパーバス Super Bass (超重低音)

ON / OFF

トレブルブースト Treble Boost (高音強調)

ON / OFF

・HDCD 設定

フィルター

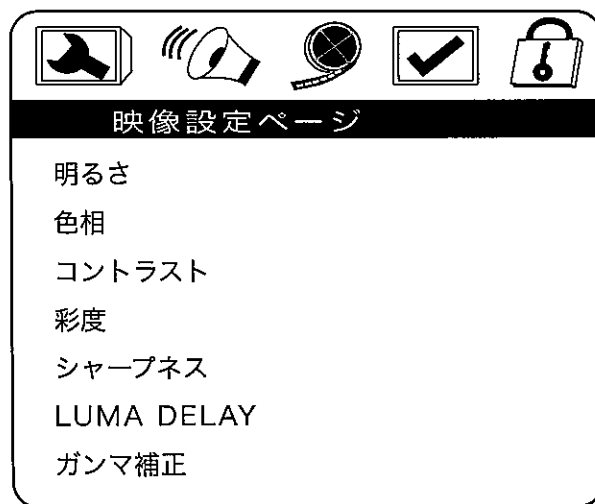
44.1K—0～44.1kHz の音域をアウトプット可能。

88.2K—0～88.2kHz の音域をアウトプット可能。

OFF—すべてをアウトプットします。



映像設定



・明るさ

-20～+20 まで調整可能

方向ボタン ◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・色相

-9～+9 まで調整可能

方向ボタン ◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・コントラスト

-16～+16 まで調整可能

方向ボタン ◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・彩度

-9～+9 まで調整可能

方向ボタン ◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・シャープネス

高 / 中 / 低 から選択してください。

・LUMA DELAY

0T—遅延なし

1T—遅延あり

・ガンマ補正

高 / 中 / 低 / なし から選択してください。



環境設定

環境設定ページ

TVタイプ
PBC
音声設定
字幕設定
メニュー言語設定
視聴制限
デフォルト

・TVタイプ

自動

NTSC (日米方式) 日本国内の設定

・PBC

Play Back Control付きのビデオCDの操作ができます。

ON / OFF

・音声設定

英語 / 日本語

・字幕設定

英語 / 日本語 / OFF

・メニュー言語設定

英語 / 日本語

・視聴制限

視聴制限の機能を備えたDVDディスクのみ有効です。

レベル1—KIDS SAFE / 子供に安心して見せることができる。

レベル2—保護者の指導なしで見せることができる一般向け映画。

レベル3—父兄・保護者同伴。

レベル4—13才以下は親同伴。

レベル5—15才以下は親同伴。

レベル6—17才以下は親同伴。

レベル7—17才未満は視聴禁止。

レベル8—成人向けの内容。

・デフォルト

リセット。工場出荷時の設定に初期化します。



パスワード設定

パスワード設定ページ

パスワードモード
パスワード

・パスワードモード

ON—パスワードを設定します。

OFF—パスワードを設定しません。

・パスワード

古いパスワード

新しいパスワード

パスワード確認

OK

新しいパスワードを設定するには

- ①「古いパスワード」に、リモコンの数字ボタンで「8806」を入力します。
- ②方向ボタン▼で、「新しいパスワード」に移動し、新しい暗証番号の数字を入力します。
- ③「パスワード確認」に、再度新しい暗証番号を入力します。
- ④「OK」を選択し、決定ボタンを押します。

※工場出荷時のパスワードは [8806] です。

※万が一、パスワードを忘れてしまったときは、環境設定ページのデフォルトでリセット（初期化）してください。

主な仕様

電源	AC100 V 50/60Hz
消費電力	15 W
質量	2.5kg
外形寸法	幅 430 × 高 48 × 奥 260mm
信号方式	NTSC
使用レーザー	半導体レーザー、波長：650nm
音声周波数特性	DVD Audio：Fs 48KHz PCM 4Hz～22Hz Fs 98KHz PCM 4Hz～44Hz Audio CD：Fs 44.1Hz 4Hz～20KHz
信号対雑音比	≥ 90dB
ダイナミックレンジ	≥ 90dB
ワウ・フラッター	測定限界以下
使用条件	温度 0° ～ 40° 、動作姿勢：水平

映像出力	1.0V(P-P)、75Ω
S映像出力	(Y) 0.7V(P-P)、75Ω (C) 0.3V(P-P)、75Ω
音声出力 (アナログ音声)	2.0V

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
 ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

	症 状	対処方法
共通	電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。
	音が聞こえない	・音量調節をしてください。 ・消音になっていないか確認してください。
	音がひずむ	・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD / CD 部	ディスクの再生が始まらない	・ディスクが裏返しになっている。→文字のある面を上にしてください
	"NO DISC" が表示される	・ディストレイがしっかりと閉じていることを確認してください。 ・DVD の再生ボタンを押してください。 ・DVD レンズに露（水滴）がついている。→ディスクを取り出し、DVD ドアを開けて1時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理（録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないDVD-R/RW は再生できません。 ・DVD-R/RW は、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VR モードで録画された DVD-RW は再生できません。
	ディスクの映像や音が出ない	・付属の音声・映像接続コード（赤・白・黄）がテレビと正しく接続されているか確認してください。
	ディスクの映像や音が飛ぶ／正常な動作や表示ができない	・テレビの入力切換が外部入力になっているか確認してください。 ・安定した場所に置いてください。
	ディスクの音が出ない	・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・デジタル音声出力を正しく設定してください。（26 ページ）
マイク部	マイクの音が出ない	・マイクコードと本機のマイク出力端子を正しく接続してください。 ・マイク本体のスイッチをオンにしてください。 ・本機のマイク音量ツマミで音量を調節してください。
リモコン部	リモコンが操作できない	・リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。 ・リモコンと本機受光部の障害物を取り除いてください。 ・リモコンで接続した TV の音量調整はできません。

お願い 表示や動作が異常になったときは、本機の電源ボタンで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
 または、電源を切って電源プラグを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
 （落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

さくいん

ア行

お手入れ	6・7
インターレース	15
エコー	17
音量	19
音声切り替え	20
MP3ファイル	22

カ行

カラオケ	17
乾電池	12
繰返し再生	21
5.1チャンネル	16

サ行

再生する	17・19
字幕切り換え	20
情報表示	21
初期設定	19・24～28
接続する	12～16
JPEGファイル	23

タ行

電源を準備する	12
DVD	8・9

ハ行

付属品	12
プログラム再生	18
プログレッシブ	15

マ行

マイク	17
-----	----

ラ行

リモコン	11
------	----

保証・アフターサービスについて

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証書



DVDプレーヤー 型番GK-3800

本商品が故障した場合には、下記に必要事項をご記入の上、弊社にお送り頂くよう、お願い致します。
尚、この保証は次に明示した期間、及び条件のもとにおいて無料修理あるいは交換をするものです。

商 品 名	DVDプレーヤー 型番GK-3800
保 証 期 間	お買い上げ日から1年間
お 買 い 上 げ 日	平成 年 月 日
お 買 い 上 げ 店	
お 客 様 ご 住 所	〒 TEL NO.
お 名 前	
故 障 の 症 状	

[無料保証規定]

1. 正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は、交換をさせていただきます。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
3. 故障の場合は上記のダメージレポートに状況を記入いただき、商品と同封の上、ご返却ください。
4. 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
5. お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
6. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障及び損傷は保証の対象外となります。
7. 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
8. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入・総発売元：株式会社 クマザキエイム
〒222-0013
横浜市港北区錦が丘12-17

TEL：045-401-7486
FAX：045-435-0057
E-mail:info@kumazaki-aim.co.jp
www.kumazaki-aim.co.jp